



2023 AUTOBACS SUPER GT Round1 OKAYAMA GT 300km RACE REPORT

カテゴリー	:GT300
カーナンバー	:9
エントラント名	:PACIFIC RACING TEAM
マシン名	:PACIFIC ぶいすぽっ NAC AMG
タイヤ	:YOKOHAMA
ドライバー	:阪口良平、Liang Jiatong
レースクイーン	:Pacific Fairies
開催日	:2023年4月15日-16日
会場	:岡山国際サーキット (一周3.703 km)
天候	:4月15日☔(WET) 4月16日☁→☔(DRY/WET)
気温	:4月15日 15℃ 4月16日 23℃
路面温度	:4月15日 15-16℃ 4月16日 30-25℃
参戦車両数	:GT500/15台 GT300/27台 合計42台
Best Lap	:1'27.829
Q1(B Group)	:7位/13台
Q2	:11位/16台
決勝	:23位/27台



期待のかかる走りとなるも
まさかのクラッシュで波乱の開幕戦に。

事前情報

今年からはGT300クラスへMercedes AMG GT3で参戦。

女性バーチャルYouTuberグループ「ぶいすぽっ！」とタイアップしたスポーティでポップなカラーリングには大きな注目が集まった。ドライバーは2021年に悲願のSUPER GT初優勝を収めている阪口良平と、欧州フォーミュラやGT3レースに参戦し、若手でありながら幾度となく表彰台の経験をもつSUPER GT初の中国人ドライバーであるLiang Jiatong。

迎えた予選日15日、天候はあいにくの雨となりQ1、Q2ともに予定より5分延長の15分間で開催された。9時10分に始まった公式練習では、阪口、Liang がそれぞれ走行し、ベストタイムは阪口がマークした1分38秒198。トップの車両と1秒157差の4位につけた。

公式予選：Q1 Bグループ



GT300クラスの予選は、シリーズランキングにより14台のA組、13台のB組に分けられ、PACIFIC ぶいすぽっ NAC AMGはそのうちB組に区分された。このQ1の走行でトップ8に入ればQ2への進出となる。

雨足がやや弱まったなか、Q1 Bグループは14時33分に走行スタート。

ベテラン・阪口が回復傾向のコンディションをいち早く掴み好調にラップを重ね1分40秒341を記録し13台中の7位となり、無事にQ1を突破した。

公式予選 : Q2



Q2は15時18分にスタート。ドライブするのはLian Jiatong。雨が上がってはいるがコース上に水が多く残っており、変わらずウェットコンディションのなかコースイン。

走行を重ねていると路面状況が少しずつ回復、各車がQ1を上回る1分37秒~38秒台にタイムを上げていく。Liangはグリップを確認しながらペースを上げていく、アタックラップで攻めるも前を走る車両に詰まってしまう11位という結果になった。

決勝



雨に見舞われた予選日から一転、朝から太陽が顔を出し晴天となった決勝日。

13時30分に2周のパレードラップが始まり、13時35分に決勝レースがスタート。阪口はタイヤを温めつつコースの状況を確認するため、オープニングラップを慎重に走り順位をキープ。一方で天候は一転し、15周目には土砂降りの雨がコースに降り始める。6号車が1コーナーでコースアウトを喫しフルコースイエロー（FCY）が導入されピットクローズとなったところ、ちょうどそのタイミングでピットインしウェットタイヤへの交換を行っていた阪口は他車が続々とピットインするタイミングでポジションアップ。雨が弱まりレース再開となった23周目からは表彰圏内を走り、前方を走る車両をオーバーテイクし時は2位まで切り込む。レース折り返しの43周目にLiang Jiatongへドライバー交代。しかし再び雨が降り始めた52周目、アトウッドカーブ進入で88号車と交錯しコンクリートバリアに衝突、マシンがストップ。良い流れでレースが運んでいただけに悔しい結果となった。

なおレースは近隣への落雷の影響及び雨量増加により赤旗が提示され、そのまま赤旗での終了が決定、16時24分にレースが終了した。

COMMENT**エントラント代表 神野元樹**

「予選、そして決勝序盤は荒天のなかでもとても良い手応えがあっただけに、52周目でのクラッシュ、リタイヤという結果は非常に悔しいです。幸いLiang選手に怪我が無くて本当に安心しました。また、ベテランである阪口選手が安定的なパフォーマンスを発揮してくれ、今年一年のチームを引っ張っていく存在としてとても期待しています。マシンについては致命的なダメージを負っており、廃車とせざるを得ないことが判明しましたが、チーム全体で可能な限り手を尽くし、Rd.3鈴鹿での復活を目指します。皆様、応援よろしくをお願いします。」

阪口良平

「フリー走行から手応えは感じていました。素晴らしいチームです。予選では最終ラップセクター2で激しくテールスライドさせてしまいましたが何とかベストラップを更新し、Q2のLiang選手に繋げられてホッとしました。決勝は不安定なコンディションの中、タイヤのパフォーマンスやピット戦略のお陰で順位を上げ52号車や2号車とバトルし、自力2位まで順位を上げLiang選手に交代する事が出来ました。レースの結果は非常に残念でしたがパシフィックレーシングチームの存在感は開幕戦からアピール出来たかと思いません。」

Liang Jiatong

「9号車にとって今回のレースは非常に難しいものとなりました。天候が非常にトリッキーで、マシンのセットアップも簡単ではありませんでした。しかしAMGは競争力のある車で、チームクルーのみんなのおかげでより素晴らしいマシンになっています。チームの賢明な戦略により、最初のピットストップ後に多くのポジションを獲得することができましたが、残念ながら他車とのアクシデントにより完走することはできませんでした。ポイント獲得や表彰台の可能性もあったなかでドライバーとして罪悪感とチームへの申し訳なさを感じています。もちろん結果にはがっかりしていますが、次戦ではさらに強くなって戻ってきたいと思っています。」

PARTNERS



SPONSORS

